

# Epochal

VOL.37  
2023 SPRING

## 新時代へと進化を続ける熊本

熊本県企業誘致連絡協議会会報

Epochal

VOL.37

熊本県企業誘致連絡協議会(事務局) 熊本県企業立地課内

熊本市中央区水前寺6丁目18-1  
TEL096(979)2630 FAX096(979)2631

### 阿蘇くまもと空港

新旅客ターミナルビル完成!  
「今だからこそ」の熊本城を楽しむ

### 整備が進む地方創生への道

アジアエントランスの機能拡充  
陸海空の玄関口

### 半導体産業集積強化推進本部

くまもと半導体産業推進ビジョン  
UXプロジェクトの拠点完成

### 県内の人材育成・確保に向けた取り組み

自動車産業の新たな挑戦  
くまもとの立地環境

# 「家族都市」プロジェクト始まる!!

世界初!

3つの都市がつながった!!

秋田県 岩手県 熊本県



クレヨンしんちゃん 30周年記念

家族都市特設サイト



©臼井隆人/双葉社・シンエイテレビ朝日・ADK

### 「クレヨンしんちゃん」家族都市プロジェクトとは?

2022年7月20日、しんちゃんが秋田県・埼玉県・熊本県の三県を結び、「家族都市」協定を締結しました!じつはしんちゃんのお父さん・ひろしは秋田県出身、お母さん・みさえは熊本県出身。

秋田と熊本はおしいちゃん・おばあちゃんたちが暮らし、たびたび里帰りして訪れている、しんちゃんにとってはまさに“第二のふるさと”。その2県としんちゃんたちが暮らす埼玉県を結んで、日本中が元気になるようなことがしたい!という野原一家からの呼びかけによってこの協定が実現しました。

強いはずなで結ばれた野原家のようにしんちゃんと三県が「家族」としてがっちりタッグを組み、これからさまざまなプロジェクトに取り組んでいきます。



埼玉県庁知事公館で大型プロジェクトの皮切りとなる【家族都市協定式】が三県知事出席のもと開かれた。(2022年7月20日)



昨年はプロジェクトの一環でJR九州と連携して、特別デザインのラッピング列車の運行や「クレヨンしんちゃん特別乗車券」販売、「ぬり絵」作品の募集のほか、阿蘇エリア等をめぐるデジタルスタンプラリーを実施した。



### 熊本県企業立地課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1  
Tel 096-383-1111 (代表)  
Tel 096-333-2330 (直通)  
Fax 096-385-5797  
Mail kigyouricchika@pref.kumamoto.lg.jp

### 熊本県東京事務所

【くまもとビジネス推進課】  
〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目3-16 (銀座熊本館3F)  
Tel 03-3572-5022  
Fax 03-3574-6714  
Mail toukyoujimusy@pref.kumamoto.lg.jp

### 熊本県大阪事務所

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目1-3-2100 (大阪駅前第3ビル21F)  
Tel 06-6344-3883  
Fax 06-6344-3807  
Mail oosakajimu@pref.kumamoto.lg.jp

■企業立地ガイド KUMAMOTO

<http://www.kumamoto-investment.jp>



■熊本県企業誘致連絡協議会【エポカル】

<http://e-kbda.jp>





# 新時代へと進化を続ける熊本

## ～JUMP KUMAMOTO 創造的復興の、その先へ～

震災、豪雨、新型コロナウイルスと続く「3つの困難」に立ち向かってきた熊本県。「創造的復興」のシンボルともいえる阿蘇くまもと空港新旅客ターミナルビルの完成により、ホップ、ステップ、そして「ジャンプ」の年を迎える。

さらに世界的半導体メーカーTSMCの子会社であるJASMの熊本工場建設も加速。県では「半導体産業集積強化推進本部会議」を設置し、課題の解決と波及効果の拡大を図るとともに、今後の産業施策の道標となる「くまもと半導体産業推進ビジョン」を策定、シリコンアイランド九州の復活を目指す。九州の中心からアジアの拠点へ、熊本の進化は止まらない。



# Epochal VOL.37

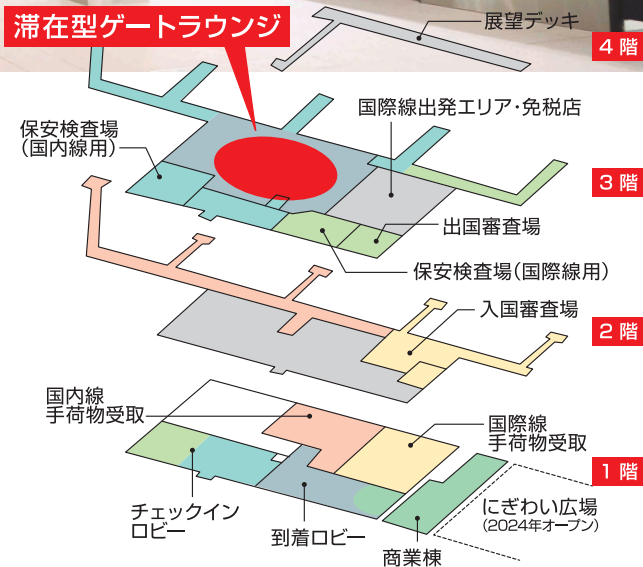
## 2023 SPRING

熊本県企業誘致連絡協議会会報【エポカル】

### CONTENTS

- 04 阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビル完成！  
「今だからこそ」の熊本城を楽しむ 特別公開
- 06 整備が進む地方創生への道  
「セミコン周辺」のアクセス強化  
熊本都市圏の新しい高規格道路「10分・20分構想」
- 08 九州の中心地、アジアエントランスの機能拡充  
創造的復興で陸・海・空の玄関口の整備進む
- 10 シリコンランド九州の復活と創造的復興の起爆剤に！  
半導体産業集積強化推進本部 くまもと半導体産業推進ビジョン  
UXプロジェクトの拠点「Pre-UXイノベーションハブ」が完成
- 12 熊本県内の人材育成・確保に向けた取り組み  
熊本県の人材確保支援
- 14 自動車業界の新たな挑戦  
大規模メガソーラーと民間初の蓄電池導入 本田技研工業(株)熊本製作所  
“藻”の機能性に着目した食品開発 (株)デンソー天草事業所
- 16 くまもとの立地環境  
温泉王国・熊本  
ゴルフ場・観光スポットが充実  
熊本で話題の新ランドマーク
- 18 良質で豊富な熊本の地下水
- 19 万全の支援体制  
各種補助金 賃貸料等の支援
- 20 NEW FACE (新会員紹介)
- 22 令和4年度 事業報告





## 国内初の滞在型ゲートラウンジ

- 搭乗直前まで締切時間を気にせず、快適な時間が過ごせる「滞在型ゲートラウンジ」を整備
- 国際線旅客も利用可能な「内際共用のゲートラウンジ」として整備

現状	チェックイン	買い物・食事	保安検査	搭乗待合	搭乗
	搭乗締切時間を気にしながらの買い物・食事			購買機会が限定的で、「待つ」だけの空間	
新ターミナルビル	チェックイン	搭乗直前まで時間を気にせず楽しめる「内際共用予定の滞在型ゲートラウンジ」		搭乗	



## 「今だからこそ」の熊本城を楽しむ

完全復旧は 2052年度

### 熊本城特別公開

開園時間 9:00 ~ 17:00  
入園料 高校生以上 800円

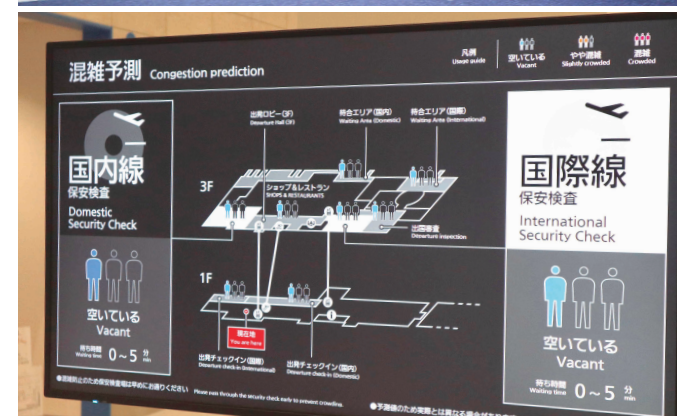
2021年6月に5年ぶりとなる天守閣の内部公開を再開した熊本城。リニューアルした展示は、熊本城の「天守」の歴史にクローズアップし、築城から西南戦争での焼失、1960年の天守再建、2016年熊本地震での被災と復旧までを模型・映像などで分かりやすく解説している。1年半を経て入園者数は100万人を超えた。

熊本地震で被災・損壊した建造物33棟のうちこれまで復旧したのは「天守閣」と「長塙」のみ。宇土櫓と本丸御殿は2032年度に、場内に13棟ある国重要文化財の復旧は42年度の復旧完了の予定。全体の完了は当初の計画より15年遅れの2052年度になるとの見通しとなった。



## 創造的復興のシンボル 阿蘇くまもと空港 新旅客ターミナルビル完成!

世界と地域にひらかれた九州セントラルゲートウェイへ



旅客動線管理システム (PFM)

熊本地震からの創造的復興のシンボルとして建設していた新たな旅客ターミナルビルが完成しその全容を現わした。2023年3月23日に開業する。国内線・国際線が一体化する新旅客ターミナルビルは、これまでの国内線・国際線を合わせた規模と比較して約1.4倍に拡大。また保安検査後の店舗面積は約46倍に拡大する。この国内・国際共用予定の「滞在型ゲートラウンジ」では、搭乗直前まで時間を気にせずショッピングやグルメを楽しむことができる。

出発直前まで味わえる飲食エリアには、阿蘇の人気グルメや天草の海の幸など熊本の食の魅力が詰まったフードエリアを中心に、熊本や九州の銘品・名店が楽しめる店舗や雑貨、アミューズメントなど25店舗がラインアップしている。

繰り返し発生する大地震にも耐える構造を備えるとともに、電源・通信・上下水道などの各種ライフラインを確保し、災害時でも全ての空港利用者が安全かつ安心して滞在できる機能を提供する。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として旅客動線管理システム (PFM) の導入による利用者の混雑状況把握や抗菌フィルター採用による換気設備の機能向上を図っている。

熊本国際空港(株)では2051年度の目標値として、国際線を4路線から17路線に拡充し、国際線旅客数を民間委託前の10倍超にあたる175万人、国内線旅客数は447万人(ピーク時の2018年度実績約320万人)を掲げる。



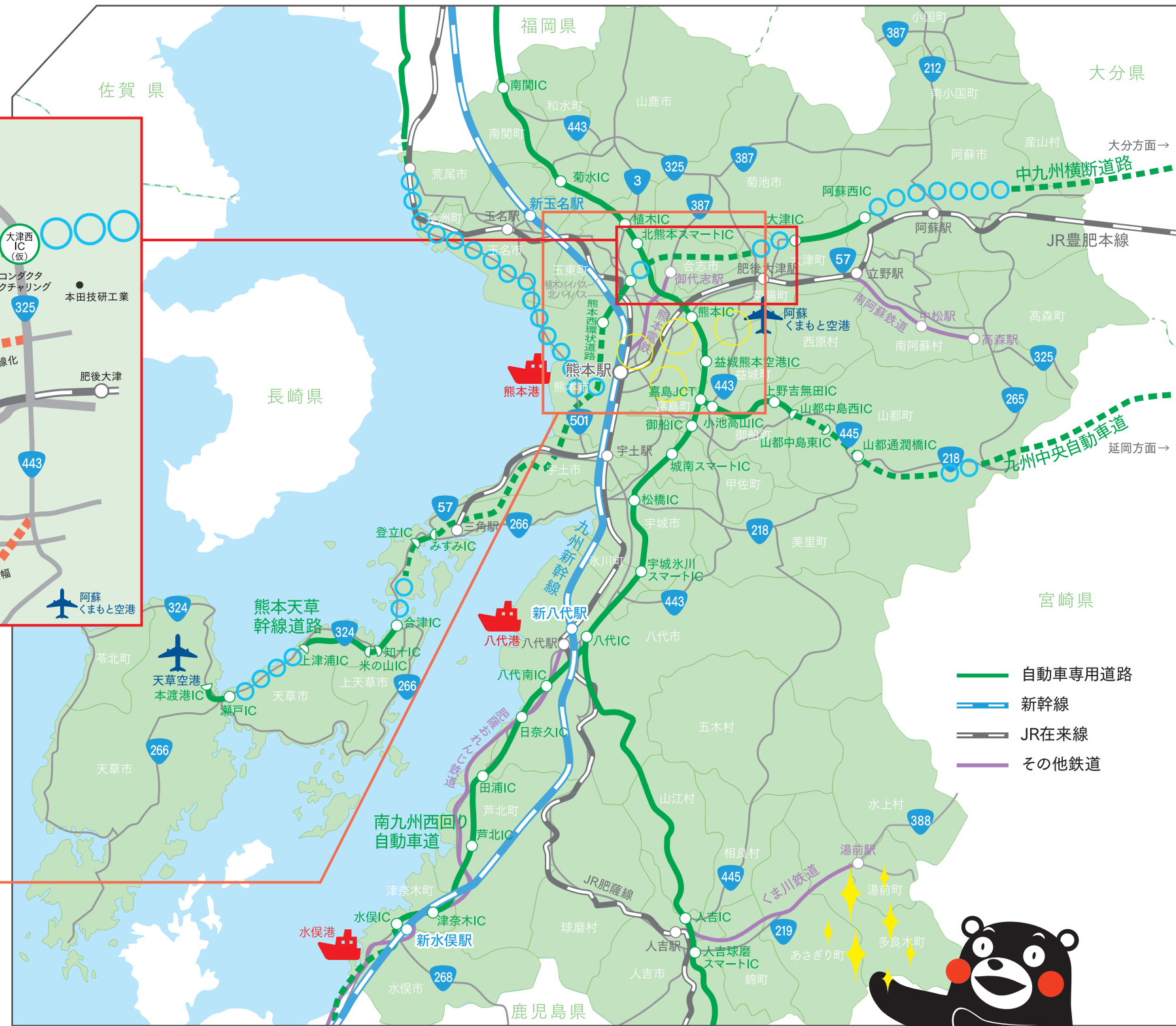


# 将来の基幹となるネットワーク 「セミコン周辺」のアクセス強化

企業集積に伴い、菊陽町と合志市に位置するセミコンテクノパーク周辺の渋滞緩和や、空港アクセス向上に向けたインフラ整備が進んでいる。大津植木線はJASM新工場に隣接する区間付近の多車線化を図るほか、中九州横断道路「合志IC」(仮

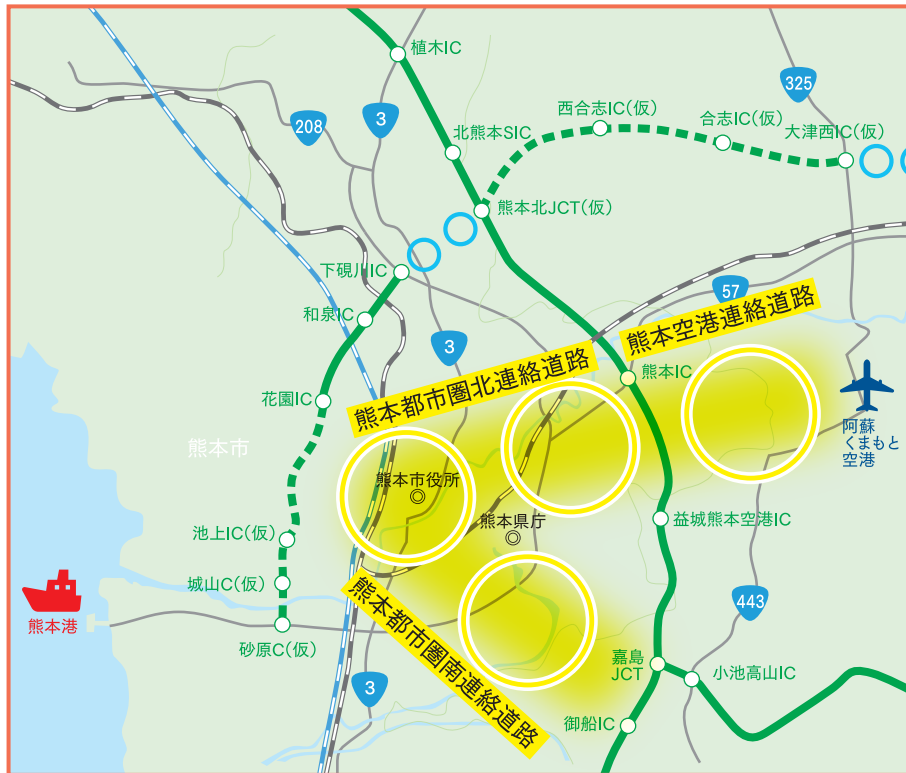
称)からJASM新工場周辺地や国道57号との交通を円滑にするアクセス道路も整備する。整備が進めば空港-工業団地-鉄道-高速道路などさまざまなポイントへの交通利便性が向上し、将来の基幹ネットワークになると期待されている。

# 整備が進む地方創生への道



## 熊本都市圏の新しい高規格道路 10分・20分構想

熊本県と熊本市では、熊本都市圏における慢性的な交通渋滞の解消など、交通の円滑化に対応するため、熊本市中心部から高速道路までを約10分、熊本空港までを約20分で結ぶ「10分・20分構想」を掲げ、「熊本都市圏北連絡道路」「熊本都市圏南連絡道路」「熊本空港連絡道路」の3つの新たな高規格道路の実現に向けた取組みを進めている。九州縦貫道とつながるこれらの高規格道路が整備されることで、交通拠点等へのアクセス性向上による人流の活性化や物流の効率化など様々な効果が期待されている。



### 直近の道路 開通状況

- 2022年度開通**
  - R5.2.5開通 国道3号「熊本北バイパス(4車線化)」(北区四方寄町-合志市須屋 延長1.8km)
  - R5.2.5開通 国道3号「植木バイパス(2車線)」(北区四方寄町 延長0.9km)
  - R5.2.25開通 熊本天草幹線道路「本渡道路」(天草市港町-同市志柿町 延長1.3km)
- 2023年度開通(予定)**
  - 九州中央自動車道「山都中島西IC~山都通潤橋IC」(山都町 延長10.4km)





**新幹線**

博多まで最速33分  
新大阪まで最速2時間58分

**飛行機**

- 羽田ー熊本 90分
- 成田ー熊本 100分
- 静岡ー熊本 100分
- 中部ー熊本 75分
- 小牧ー熊本 80分
- 伊丹ー熊本 65分
- 沖縄ー熊本 90分
- 伊丹ー熊本ー天草 155分  
(トランジット含む)
- 福岡ー天草 40分
- 韓国・ソウルー熊本 90分

※2023年3月現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により熊本-高雄、熊本-香港線は運休中

**船**

- 釜山ー熊本 3日
- 釜山ー八代 1日
- 台湾ー八代 3日

# 九州の中心地、アジアエントランスの機能拡充

九州中央の交通要衝地として生産、物流、営業の拠点が数多く進出している熊本県。創造的復興による阿蘇くまもと空港の整備に加え、陸・海・空の玄関口の整備で韓国、台湾、中国などの主要都市を中心に、アジアエントランスとしての機能がさらに拡充している。



## 機能充実化が進む 国際物流拠点 熊本港・八代港

韓国や台湾との間に定期船を運航している熊本港・八代港。両国を經由してアジアはもとより北米やヨーロッパなど世界中の貨物の輸出入が可能。

### 熊本港 Topic

熊本市都市圏の物流を支える熊本港。コンテナ船のほか、2020年から貨物を搭載した車両が直接乗り込める「RORO船」も就航している。2024年には2基目となるガントリークレーンを導入予定で、安定した荷役が確保される。また耐震強化岸壁も計画されており、災害時における防災拠点の面からも期待されている。

**熊本港国際コンテナ定期航路 月8便**  
熊本港⇄釜山港



熊本港 (コンテナターミナル)



RORO船に積み込まれる大型精密機械

### 八代港 Topic

2021年1月に台湾との定期コンテナ航路が開設され、22年7月にはコンテナヤード内に冷蔵など温度調節機能を備えた一時保管倉庫「CFS倉庫」が完成するなど、南九州の物流拠点である八代港。また、同港南側の加賀島地区に、水深12m岸壁や工業用地が計画されており、さらなる機能充実化が進行中だ。

**八代港国際コンテナ定期航路 月16便**  
八代港⇄釜山港、八代港⇄台湾各港 (基隆、台中、高雄)



台湾との国際コンテナ定期航路が就航



高潮対策のコンテナ流出防止柵

CFS倉庫 (小口貨物積替上屋)



現在配備しているガントリークレーンとストラドルキャリア



# くまもと半導体産業推進ビジョンの策定



TSMCの熊本進出を契機に、半導体のみならず、県内産業の更なる振興と県下全域における県経済の成長を実現するため、今後の産業振興施策の方針となる「くまもと半導体産業推進ビジョン」を策定し、産学官金が連携しながら取組みを推進していく。

【計画期間：令和5年度(2023年度)から令和14年度(2032年度)の10年間】

目指す姿



半導体インフラを支え、挑戦し続ける熊本

1

世界に半導体を供給し続ける拠点・熊本



【方針1】  
半導体サプライチェーンの強靱化

2

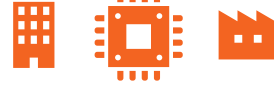
半導体人材が集う拠点・熊本



【方針2】  
安定した半導体人材の確保・育成

3

半導体を核とした産業創出拠点・熊本



【方針3】  
半導体イノベーションエコシステムの構築

## TOPIC 内閣府 地方大学・地域産業創生交付金に採択!

県では、熊本大学の参画を受け、内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金」に「半導体産業の強化及びユーザー産業を含めた新たな産業エコシステムの形成」を申請し、対象事業として採択されました。

本事業では、熊本大学等と連携し、半導体人材の育成や地域企業との共同研究の強化による国内初の三次元積層実装の量産化の確立や、地域産業や雇用の活性化を目指します。(国費支援額(R5~R9)最大35億円、県R5当初要求額6.95億円)



## Pick up!

### UXプロジェクトの拠点「Pre-UXイノベーションハブ」が完成



熊本県では、本県が持つライフサイエンス分野の強みを活かした、新たな産業の創出を目指す「UX Project」を推進している。昨年10月には阿蘇くまもと空港近郊のテクノリサーチパーク内に、人や技術がリアルに集う場となる「Pre-UXイノベーションハブ」を開設した。利用は基本無料。メンバーシップに入会すると商談会の個室利用やフリーWiFi、フリードリンクのサービスも利用できる。

【営業時間】 平日 9:00~17:00 ※休日イベント時除く  
【施設】 コワーキングスペース、個室2部屋 (駐車場30台)  
【利用料金】 基本無料 ※メンバーシップ制度に登録で追加サービスあり  
【利用方法】 予約者優先・初回訪問はノアポイント可

UXプロジェクトに参加しませんか?

「UXメンバーシップ制度」参加者大募集! 登録無料

UXプロジェクトでは、『世界中の人々が、自分らしく最後まで「健康で」「楽しく」「美しく」いられる生活』を実現するための新たなビジネスを、ここ熊本から生み出すことを目指し、考え方に共感し、ともに一歩を踏み出す仲間を求めています。新たなビジネスアイデアをお持ちの企業・団体・個人の方々や、それらの方々に支援いただける企業・団体等の方向けに「UXメンバーシップ制度」を創設しました。

メンバーシップ特典

- 1 UX関連イベントの進捗状況、補助金等の情報をいち早く知ることができる。
- 2 UXの実証実験事業など、各種取組みへエントリーできる。
- 3 UXロゴ利用の申請資格が得られる。

登録はこちらから



### 半導体産業集積強化推進本部

リーダー  
蒲島知事

メンバー

両副知事 知事部局各部 (東北広域本部) 企業局 教育委員会 県警本部

### 半導体産業集積強化推進プロジェクトチーム

アドバイザー  
両副知事 知事公室長

リーダー  
商工労働部長

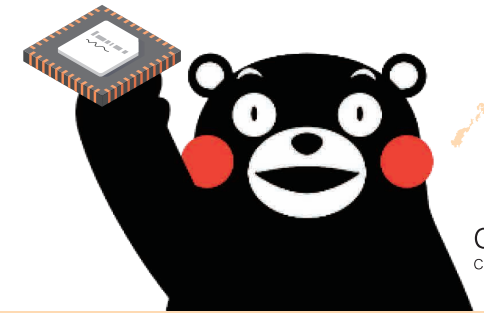
メンバー

知事部局各部 (東北広域本部) 企業局 教育委員会 県警本部

さらに7つの部会を推進本部に設置し、全庁的な推進・支援体制を整えている。

# 県庁内に全庁横断組織を設置 半導体産業集積強化推進本部

TSMCの熊本への日本初の工場建設決定を踏まえ、企業の事業計画の円滑な推進とさらなる半導体の集積による県政の浮揚を図るため、2021年11月18日に「半導体産業集積強化推進本部」並びに「半導体産業集積強化推進プロジェクトチーム」を設置し、全庁的な推進・支援体制を整備。



CPO くまモン  
Chief Promotion Officer

シリコンアイランド九州の復活と  
創造的復興の起爆剤に!

## 半導体産業の集積強化に係る部会

部会名	検討事項
人材育成・確保部会	大学、技大、高専、高校を含む幅広い人材育成の取組みや、UIJターンの推進などの人材確保等を図る
渋滞・交通アクセス対策部会	セミコンテックパーク周辺の渋滞解消及び、当該地域への交通アクセスの向上を図る
国際交流部会	自治体間での友好交流を推進するとともに、ビジネス交流の拡大を図る
教育環境部会	海外から移住する技術者の家族について、教育機会の確保を図る
熊本PR部会	国内外に向けて、幅広く熊本をPRし、認知度を高めることで人材や企業の集積等につなげる
環境保全部会	工業団地周辺の自然環境の保全と調和及びCO <sub>2</sub> 削減を図る
生活サポート部会	言語や生活習慣の異なる外国人の方が支障なく生活できるよう、市町村や関係機関と情報を共有するとともに多文化共生に取り組む



# 熊本県の人材確保支援

熊本県では教育機関や各種支援機関と連携し、企業の人材確保や人材定着に向けた取り組みをサポートしている。

## 誘致企業等と県内高等学校・専門学校等との情報交換会

優秀な人材を確保したい誘致企業等と、企業の情報を知りたい学校の就職担当者との情報交換会を開催。個別面談や名刺交換を行い、ネットワークづくりや活発な情報交換の機会を提供。



## 大都市圏等からの人材確保 熊本県UIJターン就職支援センター

熊本、東京、大阪、福岡にある相談窓口で、熊本へのUIJターン就職を希望する大都市圏等在住者と県内企業とのマッチングを無料でサポート。また、求職者が採用試験を受けるための交通費及び宿泊費を最大3万円助成。さらに、東京圏からUIJターン者を採用した場合、就職者に対して最大100万円が支給される。



相談窓口ではUIJターン就職支援アドバイザーがマッチングをサポート

## 熊本の誘致企業発掘サイト



### ハタラク

熊本県内の若者や保護者らを対象に、熊本県の誘致企業を身近に感じてもらう、誘致企業で働く魅力を発信するウェブサイト。学校のキャリア教育とも連携し、誘致企業の認知度向上に貢献している。

76  
事業所  
掲載中

詳しくはこちらをご覧ください



## 熊本で働く人がいきいきと輝く！ それが「ブライツ企業」

385社  
認定!  
(R5.1月現在)

熊本県では、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を「ブライツ企業」として認定。その優れた取組みを広く周知することにより、県全体の労働環境や処遇の向上を図るとともに、若者の県内就職を促進する。認定されると、メディア等で認定企業として周知され、「ブライツ企業限定」イベントや学校進路指導教員との情報交換会に参加できる。

認定を受けた事業所は、ブライツ企業シンボルマークを社員用の名刺等に表示することができる。

- 従業員とその家族の満足度が高い
- 地域の雇用を大切にしている
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い
- 安定した経営を行っている

# 熊本県内の人材育成・確保に向けた取り組み

## 次世代担う半導体・グローバル人材輩出へ

安定した産業人材の育成・確保に向けて、熊本県では産学官連携による新組織や独自の人材育成システムを構築する動きが活発化。グローバル社会で必要な探求力や英語力を育む国際的な教育プログラム「国際バカロレア」導入の動きも広がっている。



▲合同プロジェクトを発表した熊大の小川学長(左から2番目)、熊本県立大の堤学長(同3番目)、東海大の山田学長(同4番目)。右端は熊大の富澤理事・副学長。左は浦島熊本県知事

熊本県は半導体人材の育成に向けた産学官連携の「熊本県半導体人材育成会議」を立ち上げた。TSMC や県内に立地する半導体関連企業が求める人材に関する情報を共有し、教育機関でのカリキュラム構築につなげるのが狙い。

また、九州経済産業局と九州半導体・エレクトロニクスイノベーション協議会は半導体産業の人材育成と確保に向けた産学官組織「九州半導体人材育成等コンソーシアム」を設立した。産学官の45機関が参加

しており、半導体人材の育成・確保、企業間取引とサプライチェーンの強化、海外との産業・人材交流促進を通じた半導体産業の基盤強化を目指す。

さらに、熊本大学、熊本県立大学、東海大学の国公私3大学は、半導体分野を含む地域のDXを推進できるグローバル人材の育成を目的に、大学間の垣根を越えて関連科目を履修できる合同プロジェクトに取り組む。3大学の教育資源を有効活用し、効率的に人材育成を図る。

### \*県内教育機関の動き\*

#### 熊本大学

熊本市中央区

- 2022年4月 「先端科学研究部附属半導体研究教育センター」開設(半導体研究と専門人材の育成拠点)
- 2023年4月 同センターを中核として発展させ「半導体・デジタル研究教育機構」設置予定(研究者の増員による先端技術の研究開発と人材育成を強化)
- 2024年4月 内閣府「地方大学・地域産業創生交付金」採択学部相当の「情報融合学環」を新設予定 [DX、数理、DS(データサイエンス)の素養を身につけDX課題に対応できる人材を育成]…[DS半導体コース]と[DS総合コース]の2コース工学部に学科相当の「半導体デバイス工学課程」を新設予定

#### 熊本県立大学

熊本市東区

- 2024年度 総合管理学部内に「情報専攻(仮称)」を設置(DSやAIを専門)

#### 熊本県立技術短期大学校

菊陽町

- 2024年4月 半導体に関わる新技術科を新設予定 熊本大学への編入学可能へ

#### 熊本高等専門学校 熊本キャンパス 八代キャンパス

合志市 八代市

- 2022年度 長崎の佐世保高専とともに半導体人材育成事業拠点校「半導体工学概論」授業を開始

#### 熊本県立熊本工業高校

熊本市中央区

- 2024年度 電子科に「半導体技術」科目を新設

#### 熊本インターナショナルスクール初等部(小1~小6) 国際バカロレア認定校

熊本市東区

- 2023年4月 中等部(中1~中3)を順次開設
- 9月 熊本市東区戸島西の新校舎に移転予定
- 2024年4月 中等部の高1を開設
- 2025年4月 高等部(高2・高3)開設へ

#### 九州ルーテル学院

熊本市中央区

- 2024年春 インターナショナルスクール小学部を新設し国際バカロレア導入予定

#### 熊本県立八代中学校・高校

八代市

- 2024年度 国際バカロレア導入へ

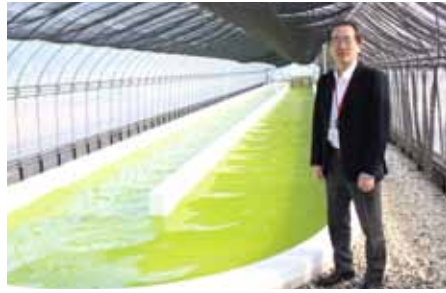




熊本県の産業の柱のひとつである自動車産業では、各社がモビリティ技術を活かし、社会課題解決に向けた先進的な取り組みが進められている。ここではいずれも国内最大手の本田技研工業(株)熊本製作所(二輪生産)および(株)デンソー天草事業所の挑戦を取材した。



# 自動車業界の新たな挑戦



▲施設内の40m培養槽を紹介する久野齊天草事業所長



▲天草市の閉校した中学校跡地に開設したデンソー天草事業所



▲コッコミクサKJを配合した菓子やサプリなどの商品。左が天草市の「南蛮菓子工房 えすはると」で商品化された「アルジェの恵み」

「はじめは失敗の連続だった。全く培養がうまくいかず、安定した培養技術を確認するまで約2年かかったが、今では年間1tのコッコミクサKJの培養が可能となり、現在は同10tの製造を目標にしている」と久野齊天草事業所長。

コッコミクサKJの特徴に目を向けると、栄養と機能の両方を兼ね備えていることが分かった。さらに研究を進めた結果、抗ストレス

## 「藻」の機能性に着目した食品開発 工業化技術でフードバリューチェーン構築

**(株)デンソー 天草事業所**

〒863-2424 熊本県天草市五和町手野2丁目2111-1  
TEL:090-7604-5459

**熱マネジメント技術を活用  
熊本県と包括連携協定**

自動車部品製造で国内最大手を誇る株式会社デンソーでは、工業化の先進的なノウハウを活かし、社会課題に対して適切なソリューション提供を進めている。中でも「食」における生産から消費までの供給体制を確立するフードバリューチェーンの取り組みを推進しており、デンソーが得意とする熱に関するマネジメント技術を活用した農業経営を実践。三重県に大規模圃場「アグリッド」を整備し、栽培技術にデンソーの工業化技術を加え、トマト栽培における高生産性ハウスの技術開発実証を行っている。

2022年10月には熊本県と「食」分野で緊密な連携を図る包括連携協定を締結。デンソーが持つノウハウを活用し、フードバリューチェーンの最適化に向けて熊本由来の地域資源を生かした新商品開発などに取り組んでいる。

**天草に「コッコミクサKJ」  
大規模屋外培養実証プラント**

そのようなフードバリューチェーンの一環でデンソーが目をつけたのが、他にないユニークな特徴を持つ「藻」の研究。成長が早く、丈夫で培養しやすい微細藻類「コッコミクサKJ」には、食品に活用できる機能性と、油滴を蓄積する特徴があることが分かり、健康食品や養殖飼料、バイオ燃料などの研究が進められている。

その研究施設として2016年、天草市の閉校した中学校の約2万㎡の土地・施設を活用し、大規模屋外培養実証プラントを整備した。背景には天草の温暖な気候や、県や天草市、天草藻類バイオマス実証事業組合からの支援などがあつた。サツカゴールが脇に置かれたグラウンド跡には20m、40m、80mのコッコミクサKJ培養槽や、製造、浄化設備が立ち並び、体育館の中には実験室併設の事務所を置いた。「はじめは失敗の連続だった。全く培養がうまくいかず、安定した培養技術を確認するまで約2年かかったが、今では年間1tのコッコミクサKJの培養が可能となり、現在は同10tの製造を目標にしている」と久野齊天草事業所長。

コッコミクサKJの特徴に目を向けると、栄養と機能の両方を兼ね備えていることが分かった。さらに研究を進めた結果、抗ストレス

を進めた結果、抗ストレス

「熊本・天草の特産品に」

2021年3月には(株)ユグレナと共同で初のヘルスクエア商品となる口腔環境のためのサプリメント「コッコミクサのちから」を開発した。研究を続けてきた藻を含む商品が市場に進出した記念すべき機会に次ぎ、さらに2022年10月には天草市の洋菓子専門店「南蛮菓子工房 えすはると」と共同でコッコミクサKJを使ったスイーツを新発売。いずれも県や天草市主導のイベントなどで周知活動を進めている。「コッコミクサKJを使った商品が将来、熊本・天草の特産品になるように研究、開発を進め、事業になるよう育てていきたい」と久野所長。

カーボンニュートラルといったエネルギー問題や、新型コロナウイルスなどの社会課題に対する一手が、天草のデンソーから打ち出されている。



▲体育館跡を活用した事務所前でスタッフと共に



▲すでに日本郵便で活用され、ベトナムでも展開され始めているHonda製電動二輪車



▲工場の屋根に設置された太陽光発電システム



▲設置を進めているカーポート型太陽光発電設備

電を整備し、年間1500tのCO2削減効果を発揮している。さらには2023年度までに7.0MW超(工場排出CO2の約7%)の国内ではHonda最大規模となるメガソーラーを導入する計画もあり、同時に国内民間

工場初(※)となる10MWh級のリチウムイオン蓄電池も配備する計画。これは自動車用、産業用電池などを製造する(株)GSユアサ製で、事業は東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株)(TGES)と協業し、脱炭素化に向けた最適な設計を協創していく。また、以降も工場内ソーラーを拡大し、2030年までに20.0MWのメガソーラーを整備することで、工場排出CO2の約20%を「自前」再生可能エネルギーに置き換えることを目指す。将来的には2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、Hondaは一歩ずつ前進している。

※1:工場敷地内に自家消費のために設置されたリチウムイオン蓄電池の容量としては国内最大規模(株)GSユアサ調べ)

## 大規模メガソーラーと民間初の蓄電池導入 2050年カーボンニュートラル実現へ

**本田技研工業(株)熊本製作所**

〒869-1293 熊本県大津町平川1500  
TEL:096-293-1111

**二輪電動車  
10モデル以上投入予定**

世界的な輸送機器メーカー・本田技研工業(株)(Honda)。その二輪事業の国内唯一の生産拠点が津町にあり、Honda全体のカーボンニュートラル実現に向けて歩を進めている。スクーターなどの小型車から大型モデルまで幅広いラインナップを揃える同社では、これまでもスーパーカブに代表される超低燃費エンジンをはじめ、数々の技術を活かして環境への取り組みを先頭を切つて進めてきた。しかし、「カーボンニュートラル実現に向けては、従来の延長線上を進むだけでは不十分」(同社)とし、Hondaはバイクの電動化を進め、2040年代に全ての製品でカーボンニュートラル実現を目指す目標を定めている。

現在、電動車の世界市場規模は約5千万台。その大半を中国のEM(電動モペット)とEB(電動自転車)が占める一方、EV

(電動車)は政府のカーボンニュートラル推進策で飛躍的に増加している国もあり、Hondaではこうしたニーズに応える電動車を投入していく構え。具体的には2025年までに10以上の新たな電動モデルを投入する計画で、パーソナル向けEVを2モデル、EMとEBで計5モデル、大型EVとキッズ向けを計4モデル展開するとしている。

**30年までに20MWのメガソーラー  
10MWh級のリチウムイオン蓄電池も**

熊本製作所においても独自の具体的な目標を打ち出した。2030年までに熊本製作所のCO2排出量46%減(2019年比)を目指して再生可能エネルギーの導入や工場インフラの電化・効率化、生産プロセスの省エネに取り組んでいる。

熊本製作所では約50万坪の広大な敷地を最大限活用するため自家消費型再生可能エネルギーであるメガワットソーラーを導入。2021年10月には同製作所の屋根の一部に3.8MWの太陽光発電を整備し、年間1500tのCO2削減効果を発揮している。さらには2023年度までに7.0MW超(工場排出CO2の約7%)の国内ではHonda最大規模となるメガソーラーを導入する計画もあり、同時に国内民間



▲熊本製作所のショールーム。熊本総務課の熊谷行雄グループリーダー(左)と事業企画課の鈴木誠一チーフエンジニア





▲地域復興を象徴する和風でモダンな建物

NEW  
スポット

## HASSENBA HITOYOSHI KUMAGAWA 復興に向かう人吉球磨の新たな観光拠点

令和2年7月豪雨で被災した人吉発船場が新たな複合施設として生まれ変わった。球磨川くだりやラフティング、サイクリングツアーを楽しめ、復興に向かう“今”の人吉を感じられる場所。施設内にある「九州パンケーキカフェ」の贅沢な“ふわもち”食感のパンケーキも見逃せない。熊本県南地域の特産品を扱う「HITO×KUMA STORE」もあり、人吉球磨の新たな観光拠点として注目されている。



▲県南地域の特産品を扱う「HITO×KUMA STORE」

■ 熊本県人吉市下新町333-1  
Tel.0966-22-5555

# 熊本で話題の 新ランドマーク

熊本NEW  
スポット



熊本には話題の施設が続々オープン。新たな熊本の魅力に触れられる最新スポットを紹介。

## 熊本は休日も楽しめる スポットが充実

### 泉質と風情を楽しめる温泉王国・熊本

熊本は源泉総数・湧出量ともに全国5位の温泉王国。温泉のほとんどが掛け流しで、温泉宿泊施設も多く、ビジネス利用が多いのも特徴。県内各地に温泉地域がある熊本では、気軽に温泉めぐりを楽しめる。

#### 1 泉質

熊本の温泉は全10種類の泉質のうち8種類の泉質があり、泉質の違いで様々な効能を体験できる。同じ温泉地域でも異なる源泉・泉質の温泉が出る地域もあり、外湯を巡る「湯巡り」で豊富な泉質を堪能できる。

#### 2 「家族湯」が多い

温泉1部屋を貸し切りで利用できる「家族湯」が多いのも熊本の温泉の特徴。男湯や女湯で入る温泉施設と異なり、家族連れなど親しい人だけで気軽にゆっくり入浴できると人気。

#### 3 趣向を凝らした温泉施設

情緒あふれるレトロな公衆浴場から絶景を一望できる露天風呂まで様々なタイプの温泉施設が充実。中には、無人改札ゲート式の浴場(200円)やコインタイマー式の家族湯(600円～)など便利でリーズナブルな立ち寄り湯も登場している。

### 自然豊かで 観光スポットも多数

熊本は自然の魅力あふれる観光スポットが多数あり、週末のレジャーも充実。



復興中の熊本城



四季折々の景観を楽しめる阿蘇



天草の海でカヤックとSUP体験

### ゴルフ場が充実

- 近い
- 安い
- 広い
- 眺めよし



熊本は、ジュニアゴルファーの育成が盛んで日本を代表するプロゴルファーが数多く誕生している。阿蘇の雄大な自然を満喫できるリゾートコースや、比較的温暖なシーサイドコースなど、県内に40以上のゴルフ場があり、年間を通したプレーが可能。市街地から近いゴルフ場も多く、プレー料金が安いのも魅力で、国内外のビジネスや観光客に利用されている。

リーズナブルな ゴルフ料金	平日	3,500円～13,900円
	土日祝	5,000円～19,400円



▲下通り入口の「Shinsekai下通GATE」

NEW  
スポット

## 熊本市中心部の下通り入口に23年春開業 パルコの新商業施設「HAB@」と 星野リゾートの新ホテル「OMO5熊本」

■ 熊本県熊本市中央区手取本町5-1

熊本パルコ跡地の新築ビル「Shinsekai下通 GATE」の地下1階～地上2階に、(株)パルコが新業態の商業施設「HAB@（ハブアット）」を開業する。ライフスタイル雑貨の専門店や新業態の飲食店、熊本初進出の人気店などが出店し、開業時期は23年春を予定している。

また、同ビル3階～11階は(株)星野リゾートが「街ナカ」ホテル「OMO5熊本(おも) by 星野リゾート」を4月25日に開業する。街の滞在拠点となるパブリックスペース「OMOベース」を展開し、カフェとテラスを併設。

カフェでは、熊本を代表する食材のトマトやテコポン、名物料理のからし蓮根をアレンジしたオリジナルメニューを楽しめる。客室は旅のスタイルに合わせて選べる8タイプの全160室を備える。



▲ガイドブックに載っていない情報を発信する「ご近所マップ」



▲カフェとテラスを併設した「OMOベース」





# 万全の支援体制

熊本県は幅広い業種に対応した補助金や人材確保の支援制度などが充実。さまざまな優遇措置で立地を強力にサポート。企業立地に関する情報は「企業立地ガイド熊本」をチェック！

企業立地ガイド熊本 検索



## 製造業・運輸業向け

### 熊本県企業立地促進補助金

- 対象:投資額3億円以上かつ雇用5人以上(2~15%)
- [研究開発業]5千万円以上かつ3人以上(5~10%)
- [外資系企業]基準なし(5%)
- [大規模投資企業]200億円以上かつ200人以上の新設企業(8~15%)
- [物流施設]1億円以上かつ5人以上(3%)
- 限度額:50億円

## オフィス系向け

### 熊本県産業支援サービス業等立地促進補助金

- 対象:雇用5人以上(投資要件なし)  
※人口減少市町村以外に立地する場合は別途要件あり
- 限度額:[コールセンター等]5億円  
[IT関連企業等]1.5億円  
※本社機能移転についても同様の制度あり

## 荷主向け

### 国際コンテナ利用拡大助成事業

#### 新規利用企業

- 対象:前年度に熊本県内港を利用したことがない荷主企業  
※国際コンテナ利用拡大助成金の交付を受けていない
- 助成金額:1TEU当たり2万円

#### 継続利用企業

- 対象:前年度に熊本県内港を利用したことがある荷主企業  
※国際コンテナ利用拡大助成金の交付を受けている
- 助成金額:1TEU当たり1万5千円

## スモールスタート 研究開発業

### ～熊本県企業立地補助金～

- 対象:投資額1,000万円以上かつ雇用3人以上  
※新たに熊本県内に研究開発施設等を設置するもの
- 補助金額:  
①投資額×10%  
②新規雇用者50万円/人  
③事業所の年間賃借額×1/2(4年間)
- 限度額:1億円

## 補助率が最大2倍

### ■球磨川流域復興枠を創設

《対象企業》  
製造業(球磨川流域市町村等に事業所を新設、増設する企業)

《対象期間》  
令和6年3月末まで

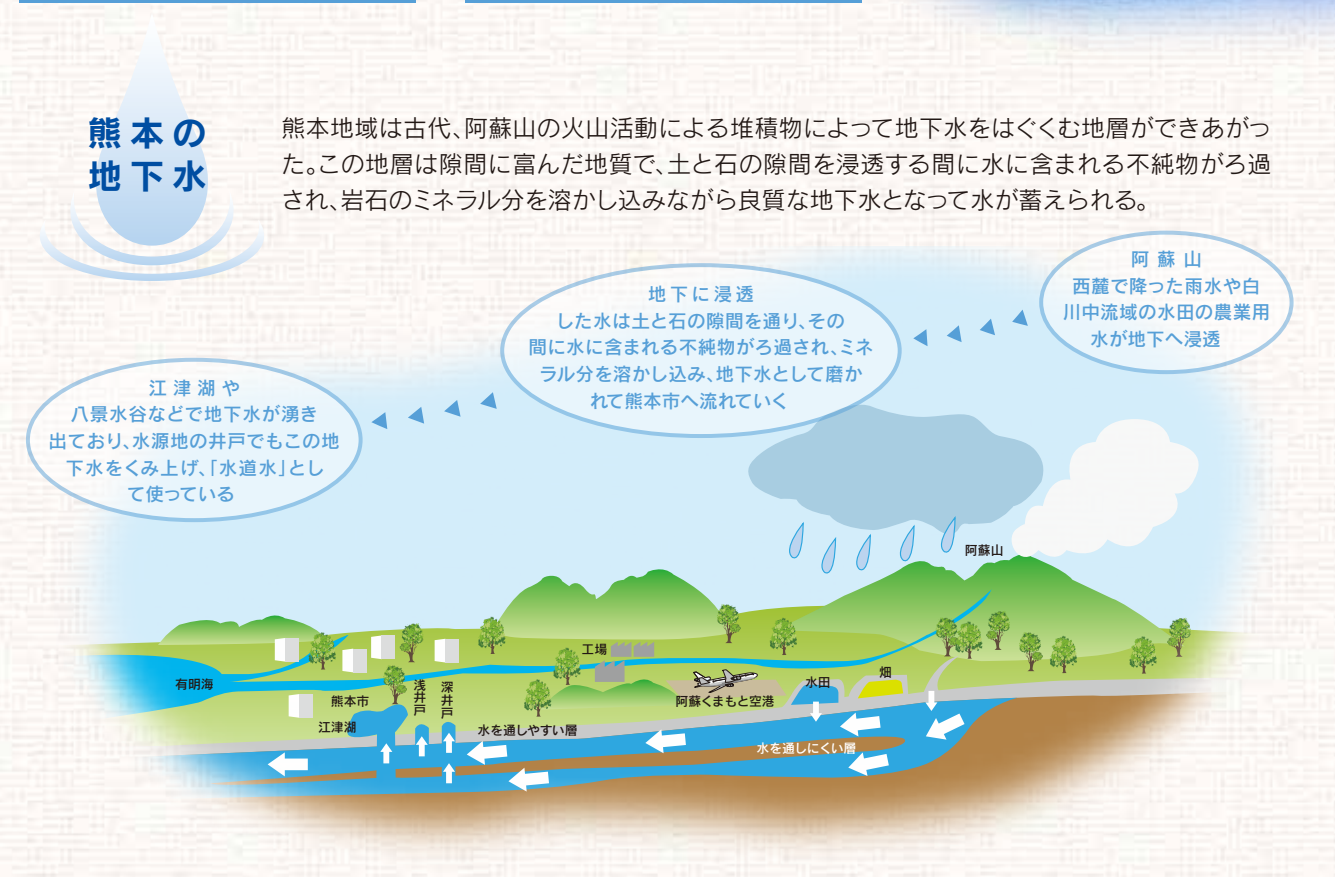
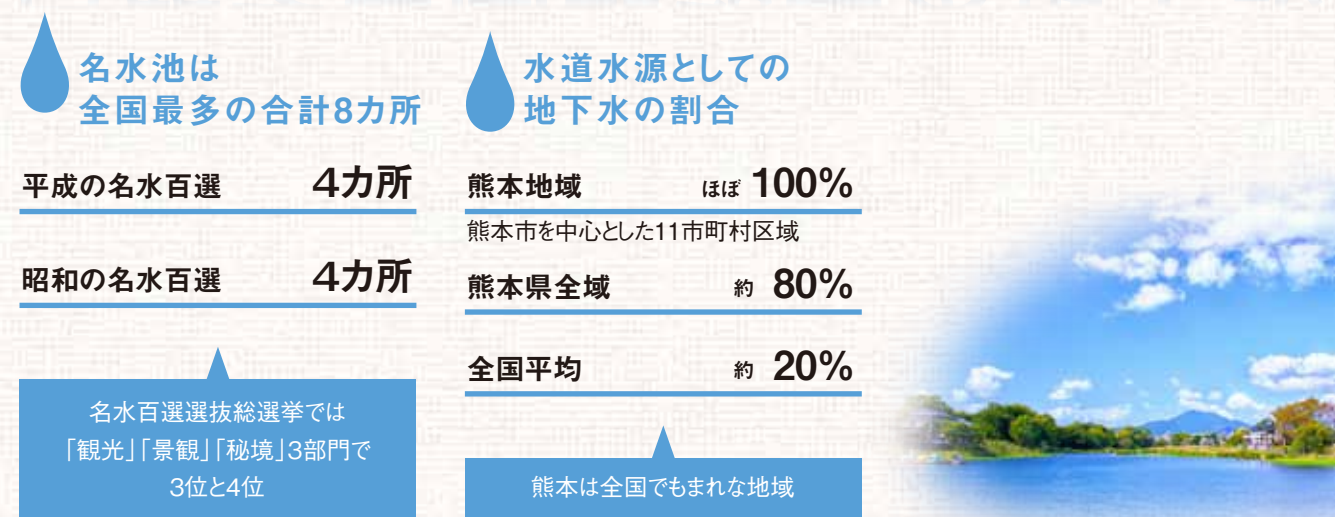
球磨川流域市町村等の創造的復興を強力に後押しするため、投資要件および雇用要件を優遇。さらに、一定の要件を満たせば補助率が最大2倍に!

## ノンアセット型物流企業の 賃貸料等を支援!

《対象企業》  
マルチテナント型物流施設等に入居する企業  
※道路貨物運送業、貨物運送取扱業、港湾運送業、梱包業、卸業及び小売業

《補助内容》  
設備投資(土地・建物は含まず)や雇用に対する支援に加え、事業所の年間賃借額(操業から1年間)の1/2を支援。

# 良質で豊富な熊本の地下水



熊本地域は約100万人の住民の生活用水をほぼ100%地下水でまかなっている。農業や工業など産業用水にも多くの地下水が利用されており、良質で豊富な地下水が魅力となって、幅広い業種の企業が数多く進出している。





Vol.37

# NEW

# FACE

2022年  
新会員紹介



**会社概要**

- 所在地 / 熊本県宇城市松橋町浦川内74-1
- TEL / 0964-32-2323
- 代表者 / 代表取締役社長 新谷 元
- 設立年月 / 1982年2月
- 従業員数 / 145名
- 事業内容 / 二輪車クラッチ・四輪ATならびに汎用機部品の製造販売

## アイデアと技術力で進化を続けるクラッチメーカー

NEW FACE 4

株式会社九州エフ・シー・シー

昭和57年の設立以来、クラッチメーカーとして独自のアイデアと技術力で進化を続けてきました。今日、私たちを取り巻く事業環境は大きく変化しており、それに適応していく力が求められています。

その様な中、これまで培ってきた技術力を強みにクラッチ事業の更なる可能性を追究し続けていくのと同時に、新たな価値を生み出すべく、これからもモノづくりへのチャレンジを続けていきます。



**会社概要**

- 所在地 / 熊本県熊本市中央区桜町1-20 西嶋三井ビル408号
- TEL / 070-1064-4815
- 代表者 / 代表取締役社長 神山 享
- 設立年月 / 1955年2月28日 (熊本営業所2022年4月1日)
- 従業員数 / 約25,000名(熊本営業所2名)
- 事業内容 / 各国航空船舶会社の代理店業、貨物利用運送事業、等

## 海上・航空輸送を担う サプライチェーン・ロジスティクス企業

NEW FACE 1

郵船ロジスティクス株式会社 熊本営業所

郵船ロジスティクスは海上・航空貨物輸送、コンテナ・ロジスティクス、そしてサプライチェーン・ソリューションをグローバルに展開している日本を代表する総合物流企業です。1955年の設立より、常にお客様に寄り添ってきた結果、現在では、世界47の国と地域に630以上の拠点ネットワークを展開し、約2万5000人の従業員が、多様化・高度化するお客様のご要望に合わせて最適なソリューションを提供しています。



**会社概要**

- 所在地 / 熊本県熊本市西区春日3-20-14 M's 401
- TEL / 096-328-3888
- 代表者 / 代表取締役社長 中島彰彦
- 設立年月 / 1995年9月
- 従業員数 / 630名
- 事業内容 / システム受託開発、技術者人材派遣事業、業務請負・業務

## 人を磨いて、技術を磨く “ものづくり日本” の再建を担う

NEW FACE 5

株式会社アソウ・アルファ

(株)アソウ・アルファは、1872年創業以来、日本の産業の先端を歩み続けてきた麻生グループの1社です。私たちは、日本経済の根幹を支える「ものづくり日本」の再建を担うことをスローガンに、日々、企業価値の向上に努めています。そのために「技術力と人間力」を兼ね備えた技術社員を通じて企業の課題を解決していきます。また、時代とともに変化する仕事を通じて、人間の可能性を追求し、社会に貢献します。



**会社概要**

- 所在地 / 熊本県合志市福原1-25
- TEL / 096-292-4524
- 代表者 / 代表取締役 芝池 雅樹
- 設立年月 / 2004年12月
- 従業員数 / 46名
- 事業内容 / 半導体製造装置向けふっ素樹脂製品の製造

## ふっ素樹脂製品製造で 半導体産業の発展に貢献

NEW FACE 2

日本ピラー九州株式会社

スマートフォンやコンピュータ、自動車などのあらゆる機械に搭載される半導体を製造する装置に使用されるふっ素樹脂製品を製造・販売する、日本ピラー工業グループの重要な生産拠点として2004年に設立しました。日本ピラー九州では、主に半導体洗浄装置に使用されるふっ素樹脂製の継手・配管の製造を行っており、設立以来業務の拡大を続けております。今後も業務の拡大を継続し、半導体産業の発展に貢献してまいります。



**会社概要**

- 所在地 / 熊本県熊本市中央区紺屋今町9番6号 (本社)福岡県福岡市博多区下川端町2番1号
- TEL / 096-355-8356
- 代表者 / 熊本・南九州営業部長 鹿島 道雄
- 設立年月 / 2015年12月
- 従業員数 / 8名
- 事業内容 / 総合リース

## 熊本のビジネスを影で支える、バックボーンカンパニーへ

NEW FACE 6

JA三井リース九州株式会社 熊本・南九州営業部

私たちは2015年12月に当地に出店し、「三井系・商社系」と「JA系統」という特性を併せ持つ「JA三井リース株式会社」の全額出資子会社として展開しています。

当地において、金融サービスを機軸に、リース・割賦販売はもとより、再生可能エネルギー、工業流通、ICT、不動産などお客様のニーズにあった各種ソリューションを付加したサービスを提供し、お客様と共に発展します。



**会社概要**

- 所在地 / (熊本センター)熊本県熊本市中央区花畑町4-7 朝日新聞第一生命ビルディング4階 (九州支店)熊本県熊本市中央区南熊本4-1-4
- 代表者 / 代表取締役社長 河野 純
- 設立年月 / 2019年11月
- 従業員数 / 熊本センター 約180名
- 事業内容 / BPOサービス、医療・ヘルスケアソリューション、ITソリューション、FMソリューション

## ビジネス発展に貢献するBPOサービス・ITソリューションを提供

NEW FACE 3

株式会社電算

電算は、創業から55年ITという言葉がなかった頃からクライアントとエンドユーザーを結ぶ大切なデータを扱い続けてきたデータ価値向上・ビジネス発展に貢献するBPOサービス・ITソリューションを提供しています。

熊本センターは、業界団体と金融機関の専門業務や、複数の案件を効率的に処理するシェアセンターです。ビジネスから医療まで、幅広く確かな情報処理サポートによりクライアントが本業に集中できる環境をつくります。



令和5年1月25日(水)～27日(金)

## オートモーティブ ワールドに出展しました。

東京ビッグサイト(東京都江東区)

令和3年度のネプコン・ジャパンに引き続き、令和4年度は、令和5年1月25日(水)～27日(金)の3日に渡り東京ビッグサイトで開催された「オートモーティブワールド-クルマの先端技術展」に出展しました。



この展示会は、カーボンニュートラル、電子化・電動化、自動運転、コネクティッド・カー、軽量化など、クルマの先端をテーマに最新技術が一堂に会する展示会で、年々規模を拡大されています。当日は多くの方に熊本県ブースへお立ち寄りいただき、本協議会及び県内立地環境PR等の誘致活動を実施しました。

令和4年10月14日(金)

## 熊本県自動車関連企業 立地セミナー2022

名鉄グランドホテル(愛知県名古屋市)



令和4年10月14日(金)、名古屋市において、熊本県と共催で、熊本県自動車関連企業立地セミナーを開催しました。このセミナーは、国内自動車産業の一大集積地である東海地方の企業の方々を対象としたもので、会場約100名及びオンライン配信約100名の多くの方にご参加いただきました。講演後は、講師を囲んで名刺交換会が行われ、多くの企業の方々で情報交換されました。

- 「トヨタ自動車九州におけるカーボンニュートラルの取り組み」  
トヨタ自動車九州(株) パワートレイン本部 本部長 長木 哲朗 氏
- 「アイシン九州30年の歩み、そしてこれから」  
アイシン九州(株) 代表取締役社長 塩田 章人 氏
- 「自動車用半導体の開発動向」  
(株)デンソー 研究開発センター 執行幹部 兼  
(株)ミライズテクノロジーズ 取締役 松ヶ谷 和沖 氏
- 「熊本県の魅力～選ばれる熊本を目指して～」  
熊本県知事 蒲島 郁夫

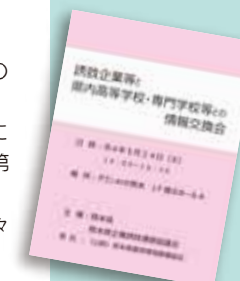
令和4年5月24日(火)

## 誘致企業等と県内高等学校・ 専門学校等との情報交換会

グランメッセ熊本 1F展示ホールA(益城町)



令和4年5月24日(火)グランメッセ熊本にて、会員を含む県内企業の人材確保に向けて企業等の人事担当者や県内高等学校・専門学校等の就職担当者との情報交換会を開催しました。最初に熊本県高校教育課から高校生の就職の現状について説明いただき、第一部で、企業ごとに設けられたブースを高等学校・専門学校等の就職担当者が巡回し、個別面談と名刺交換を行い、第二部は、企業の方が学校側を訪ねることができるように立ちあがって自由な交流を行いました。会員企業等57社の人事担当者と高等学校・専門学校等51校の就職担当者など、約180名の方々に参加していただき、活発な情報交換会となりました。



<冊子の表紙>

令和4年5月25日(水)

## 幹事会

ホテル熊本テルサ  
(熊本市中央区)



2022

3

2

2023

1

12

11

10

9

8

7

6

5

4

令和4年9月～令和5年3月

## 熊本の 誘致企業発掘サイト 「ハタラク」の更新

令和5年3月4日(土)

## 会員交流ボウリング大会

スポーツ熊本(熊本市中央区)

令和5年2月2日(木)

## 熊本県半導体関連企業立地セミナー

ロイヤルパークホテル東京・日本橋(東京都中央区)

令和5年2月2日(木)、ロイヤルパークホテル東京・日本橋において、熊本県との合同主催で、主に首都圏でご活躍されている企業の投資決定の立場にあるの方々を対象に、「熊本県半導体関連企業立地セミナー」を開催しました。



企業立地セミナーとしては、平成27年度以来の開催となり、オンラインでの視聴も合わせ600名を超える皆様にご参加いただきました。

- 基調講演「半導体戦略～世界の半導体市場及び技術の動向～」  
東京大学大学院工学系研究科 教授 黒田 忠広 氏
- パネルディスカッション「半導体産業における熊本の可能性と期待」  
コーディネーター  
東京大学大学院工学系研究科 教授 黒田 忠広 氏  
パネリスト  
・経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長 金指 壽 氏  
・Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株) 取締役社長 堀田 祐一 氏  
・ソニーセミコンダクタソリューションズ(株) 執行役員 CFO 高野 康浩 氏  
・(株)デンソー 研究開発センター 執行幹部 兼  
(株)ミライズテクノロジーズ 取締役 松ヶ谷 和沖 氏
- 特別講演「選ばれる熊本」  
熊本県知事 蒲島 郁夫

令和4年12月14日(水)～16日(金)

## SEMICON JAPAN 2022に 出展しました。

東京ビッグサイト(東京都江東区)

令和4年12月14日(水)～16日(金)の3日に渡り、東京ビッグサイトで開催された「SEMICON JAPAN 2022」に出展しました。

この展示会は、半導体製造装置、材料等に関する世界最大級の展示会であり、大手半導体関連企業も出展するため、本協議会及び県内立地環境PR等の誘致活動を実施しました。

令和3年11月にTSMCによる日本で初めてとなる工場建設の公表後、半導体関連企業の新たな進出や工場への投資が増加するなど、半導体関連企業の更なる集積が見込まれており、期間中、多数の方にブースにご訪問いただきました。



令和4年5月26日(木)

## 熊本県市町村企業誘致担当者説明会

グランメッセ熊本 中会議室(益城町)

令和4年5月26日(木)、熊本県と共催で、「令和4年度熊本県市町村企業誘致担当者研修会」を開催しました。

この研修会は、企業誘致行政に携わる市町村職員が必要とする知識や企業の現状について理解を深めるとともに、県及び市町村相互の情報交換や親睦を図ることで県全体の企業誘致活動を推進することを目的として開催しているものです。今年度は、感染拡大防止対策としてZoomを活用したオンライン配信も併用しての開催でしたが、来場者数19名、リモート参加数33名、合計で39市町村にご参加いただきました。



令和4年6月6日(月)

## 通常総会

熊本ホテルキャッスル(熊本市中央区)

令和4年6月6日(月)熊本ホテルキャッスルにおいて、令和4年度通常総会を開催し、入退会状況報告や令和3年度事業・収支決算報告及び令和4年度事業計画・予算案等の議案が承認されました。

また、新規入会企業として、(株)エヴォルト、(株)湖池屋、(株)九州エフ・シー・シー、JA三井リース九州(株)、(有)七城観光バス、湯前町をご紹介しました。講演後の交流会には、三輪商工労働部長も出席され、会員間の活発な意見交換を図ることができました。



Epochal  
vol.37発行